

ただし、12 単位分を履修する際、科目区分や科目ごとに卒業要件として認められる単位数の上限が決められています。たとえば、専門基礎科目の選択科目は 8 単位まで（合計で 40 単位まで）、専門科目の選択科目は 8 単位まで（合計で 38 単位まで）が卒業要件として認められます。したがって、他の区分の科目と合わせて、12 単位以上とする必要があります。

共通科目のうち、5 単位を超えて修得した総合科目Ⅱ、1 単位を超えて修得した総合科目Ⅲ、自由科目として開設される体育の単位なども、この 12 単位分に含めることができます。

関連科目については、博物館に関する科目、他学類の開設科目を含めることができます。一方、「教職に関する科目」をこの 12 単位に含めることはできません。なお、他学類の科目を履修する場合は、標準履修年次を尊重し、シラバス（他学類のシラバスは各学類の Web サイトで公開されています）で受講制限の有無や前提となる科目や知識等を良く確認してください。また初回の授業には必ず出席し、担当教員に受講の可否を確認することをお勧めします。一般に、基礎的な知識を持たずに専門性の高い科目を受講しても単位修得は困難ですし、授業形態によっては他の受講者の迷惑にもなります。

表 2 自由に選択できる科目の上限

区分	カテゴリ等	上限
共通科目	総合科目Ⅰ	12
	総合科目Ⅱ	
	総合科目Ⅲ	
	体育	
	国語	
	芸術	
	外国語	
関連科目	博物館に関する科目	12
	自由科目（特設）	
	他学類の開設科目	
専門基礎科目	選択科目	8
	知的探求の世界	
専門科目	自主専攻	8
	他主専攻・共通	

専門基礎科目では、32 単位を超えて修得した選択科目と「知的探求の世界」を合計 8 単位まで自由に選択できる科目に含めることができます。また、専門科目では、20 単位を超えて履修した自主専攻の専門科目、8 単位を超えて履修した他主専攻や学群共通・学類共通の専門科目を合計 8 単位まで自由に選択できる科目に含めることができます。

卒業研究のてびき

卒業研究とその成果物

本学類では卒業研究は必修科目であり、学士の学位を取得して卒業するために必ず通過しなければならない関門です。それと同時に、卒業研究はみなさんが初めて取り組む研究活動であり、小さいながらも知識情報分野の研究テーマに自律的に取り組んで、その方法論的基盤を獲得することを目標にしています。

その達成プロセスとして、研究の実施、卒業論文の作成、その成果の発表がみなさんに求められます。目標達成の証拠として、みなさんが提出しなければならないものは以下の4点です。

- a. 抄録（A4判1頁にまとめた研究成果の要旨）1部
- b. 卒業論文1部
- c. 電子版抄録（aをそのままPDFに変換したもの）
- d. 電子版卒業論文（bをそのままPDFに変換したもの）

いずれも様式と仕様が定められています。日程と提出場所の詳細は別途公表します。

成績評価

卒業研究に対する成績評価は通常の科目と同様にA+からDの5段階でおこなわれます。評価の前提として、

- ・着手発表会、中間発表会、最終発表会で発表していること
- ・卒業論文およびその抄録（電子版を含む）を指定日時までに提出していること

が必要です。成績評価に先立ち、まず合否判定が行われます。合否判定の第一段階は、最終発表会での発表に対して行われ、最終発表会に出席した主専攻担当教員および協力教員が「優れている」「十分」「不十分」の記名評価を行います。教員は以下の五つの判断基準のひとつ以上に該当すると判断した場合に「不十分」の判定を下します。

仕事 卒業研究として十分な作業量がない

課題 目的に対して、研究の位置づけや課題の設定に明らかな問題がある

手法 設定された課題に対して妥当な研究方法が選ばれていない

結果 結果の正確性、妥当性のいずれかに重大な疑問がある

論理 説明に飛躍や矛盾が多い

指導教員が「不十分」と判定した場合または3名以上の教員が「不十分」と判定した場合は再審査を実施します。再審査では、主専攻主任が指名する3名の教員（原則として、指導教員、不十分判定を下した教員、不十分以外の判定を下した教員）から構成される審査委員会が、提出された論文、最終発表会での発表内容、指導教員による当該研究過程の説明を踏まえて合否判定を行います。判断基準は同じく上記の5つです。

合否判定の結果や再審査の対象者名は学生には一切周知しません。再審査は学生を交えずに実施し、再発表や口頭試問を課すことなく合否を判断します。なお、再審査の結果、成績報告期限までに論文修正を求めることがあります。この場合、期限までに要求された修正が確認できれば合格、できなかった場合は不合格（D）となります。合格者の成績（A+/A/B/C）は論文、最終発表、研究過程、再審査を経た場合は審査委員会での評価を総合的に加味して指導教員が判断します。

以上が成績評価のプロセスですが、上記の審査とは別に、指導教員の判断により、主専攻担当教員に卒業

論文の査読を依頼することがあります。査読は成績評価とは無関係な手続きで、論文に対する改善意見を第三者から得ることを目的としています。学生は査読報告にもとづいて、期限までに必ず卒業論文を修正しなければなりません。ただし、再審査になった場合、査読者は原則として審査委員に指名されるので、審査委員会からの修正要求があった場合は査読報告による修正よりも優先して対処してください。

再審査における卒業論文の修正、査読に対する修正のいずれも電子版の卒業論文を更新する形で行いますが、提出済みの印刷版卒業論文と全く異なる内容にしてはいけません。許されるのはあくまで完成度を高めるための軽微な修正に限ります。自主的に修正する場合も同様です。

成果の公表

卒業論文はみなさん自身の研究成果ではありますが、指導教員や本学類の教育の成果でもあります。また、卒業研究は多くの先行研究を踏まえて行われ、それら研究成果が入手できなければ、みなさんの卒業研究の進捗に大きく影響したはずで、みなさんの研究成果を組織的に保存し、必要とする人の利用に供することは学類の理念を実践することであり、本学類を卒業するみなさんにとっては社会的な義務であるとも言えます。

そのため、本学類では次の二つの方法で成果の公表を行います。ひとつは抄録の公開です。抄録は製本してみなさんに配布するだけでなく、本学附属図書館に納めます。また、本学類に興味を持つ、あるいはみなさんの研究テーマに興味を持つ誰もがアクセスできるように、電子版を学類の Web ページからも公開します。

第二は卒業論文本体の公表です。卒業研究をすすめるにあたって、同じ研究室の先輩の卒業論文を参考にした人は少なくないでしょう。抄録集から別の研究室で自分のテーマに近い研究が行われていたことを発見し、その卒業論文を探した人もいるかもしれません。また、研究室を決めるときに、その研究室の卒業論文を読んでみたいと思うこともあるでしょう。これまで、過去に提出された卒業論文を読む確実な方法はありませんでした。知識情報・図書館学類では、みなさんが提出した電子版の卒業論文を永続的に保存し、図書館情報学図書館内からのみアクセスできるという制限をつけて閲覧に供することとしました。想定される主な利用者はみなさんの後輩である知識情報・図書館学類生です。

なお、これから雑誌論文として投稿する等、一時的に公表を避けなければならない事情がある場合は、論文の公表を猶予することができます。指導教員とも相談の上、論文提出と同時に公表猶予申請書を提出してください。猶予期間は原則 1 年です。抄録にはそのような制度を設けていません。抄録、卒業論文ともにみなさんの著作物ですが、これから卒業研究を行う後輩たちのために、また、学類の英知を結集するために、みなさんの貴重な研究成果が必要です。本学類はこのような理由に基づき、卒業研究の蓄積と公開・公表を行うという方針を採用しています。

MEMO

資 料

(6) 情報学群履修細則

〔平成19年4月1日
情報学群部局細則第3号〕

改正 平成20年情報学群部局細則第1号
平成20年情報学群部局細則第2号
平成22年情報学群部局細則第1号
平成23年情報学群部局細則第1号
平成24年情報学群部局細則第1号
平成25年情報学群部局細則第1号
平成25年情報学群部局細則第2号
平成26年情報学群部局細則第1号
平成26年情報学群部局細則第2号
平成28年情報学群部局細則第1号
平成28年情報学群部局細則第2号
平成28年情報学群部局細則第3号

(趣旨)

第1条 この部局細則は、筑波大学学群学則（平成16年法人規則第10号。以下「学群学則」という。）第1条の2第1項、第25条、第25条の2第2項、第28条、第31条、第33条第1項、第35条第3項、第39条及び第40条の規定に基づき、情報学群における人材養成に関する目的その他教育研究上の目的（次条において「人材養成目的」という。）、教育課程の編成及びその履修に関し必要な事項を定めるものとする。

(人材養成目的)

第1条の2 学群学則第1条の2第1項の規定に基づき、情報学群では、知識と情報の記録、蓄積、共有、加工、利用といった諸活動にかかわる様々な情報技術やその原理となる科学を理解し、それらを使いこなす「21世紀の創造を担う人材」を養成する。また、科学的、技術的な側面だけでなく、人間の知的行動や社会的・文化的基盤についても十分な知見を身につけることを目指す。

2 各学類の人材養成目的は、次の表のとおりとする。

学 類	人材養成目的
情 報 科 学 類	現代社会の原動力である情報を生成・伝達・変換・活用するための工学的な技術やその原理となる数理や自然科学を理解し、それを実社会における様々な問題に適用して解決する実践力を備え、グローバルな視点に立って情報技術の発展を主体的に担うことができる人材を養成する。
情報メディア創成学類	これからのネットワーク情報社会を発展させるために不可欠な基盤的技術分野や、Web・映像・音楽などの多種多様な情報をコンテンツとして扱い流通させる分野などにおいて、革新的技術や科学的理論を創造的に生み出すことができる技術者、研究者を養成する。
知識情報・図書館学類	知識や情報を活用する能力を育み、関連する社会制度と技術の専門教育を行う。これらの教育を通じて、知識資源の形成、加工、流通、利用の発展に寄与する専門家と人間、社会、技術にわたる総合的視野や問題解決能力を持った職業人を育成する。

(主専攻分野)

第2条 学群学則第25条の部局細則で定める主専攻分野は、次の表のとおりとする。

学 類	主 専 攻 分 野
情 報 科 学 類	ソフトウェアサイエンス、情報システム、知能情報メディア
情報メディア創成学類	情報メディア創成
知識情報・図書館学類	知識科学、知識情報システム、情報資源経営

(履修方法)

第3条 学群学則第39条第1項の部局細則で定める情報学群における主専攻分野別の「専門科目」、「専門基礎科目」及び「基礎科目」ごとの卒業に必要な履修科目及び履修単位数は、別表第1のとおりとする。この場合において、「基礎科目」のうち、「共通科目・情報」の単位については、情報科学類にあつては「専門科目」、情報メディア創成学類及び知識情報・図書館学類にあつては「専門基礎科目」の履修により修得した単位をもって充てるものとする。

(主専攻分野の選択条件)

第4条 学群長は、学生の主専攻分野について、学生の希望を勘案し、入学した年次終了時以降に選考を行い、学類教育会議及び学群運営委員会の議を経て決定する。

2 学生が主専攻分野を選択するにあたって、あらかじめ、履修すべき授業科目及び単位数は、別表第2のとおりとする。

(履修科目の登録の上限)

第5条 学群学則第33条第1項の部局細則で定める履修科目の登録の上限は、45単位とする。ただし、編入学を許可された者の履修科目の登録の上限は、入学した年に限り55単位とする。これらの場合において、「教職に関する科目」は、この単位数に含めない。

2 学群学則第33条第2項の部局細則で定める上限を超えて履修科目の登録を認めることができる場合の要件及び単位数は、次の表のとおりとする。

学 類	要 件	単位数
情 報 科 学 類	(1) 前年度において卒業の要件として必要な単位を40単位以上修得し、その60%以上が「A+」又は「A」である者 (2) 学類長が特別な事情があると認めた者	55単位
情報メディア創成学類	(1) 前年度において卒業の要件として必要な単位を40単位以上修得し、履修申請を行った全科目の単位数（ただし教職に関する科目は除く）の60%以上が「A+」又は「A」である者 (2) 学類長が特別な事情があると認めた者	55単位
知識情報・図書館学類	(1) 前年度において卒業の要件として必要な単位を40単位以上修得し、その70%以上が「A+」又は「A」である者 (2) 学類長が特別な事情があると認めた者	55単位

(成績の評価)

第6条 学群学則第35条第3項の部局細則で定める合格及び不合格の評語を用いることができる授業科目は、「フレッシュマンセミナー」及び「グローバルチャレンジ演習」とする。

2 学群のGPA制度における学期GPA及び累積GPAの対象から除かれる科目は、次の表のとおりとする。

学 類	学期GPA及び累積GPA対象除外科目
情 報 科 学 類	基礎科目-関連科目
情報メディア創成学類	関連科目-自由科目
知識情報・図書館学類	なし

(早期卒業)

第7条 学群学則第40条に規定する早期卒業の対象者及び基準は、次の表のとおりとする。

学 類	対 象 者	基 準
情 報 科 学 類	2年次終了時において卒業の要件として必要な単位を85単位以上修得し、かつ、成績が上位10%以内にある者について、卒業の見込み等を総合的に勘案して判断する。	3年以上在学し、卒業要件として定めている126単位を修得した者
情報メディア創成学類	2年次終了時において卒業の要件として必要な単位を85単位以上修得し、その90%以上が「A+」又は「A」である者について、卒業の見込み等を総合的に勘案して判断する。	3年以上在学し、卒業要件として定められた所定単位を修得すること。
知識情報・図書館学類	秋学期終了時において卒業の要件として必要な単位を90単位以上修得し、成績が上位3位以内である者	卒業研究の内容が優秀であると認められた者

(雑則)

第8条 この部局細則に定めるもののほか、主専攻分野の選択時期、卒業研究の選択及び提出時期その他学類における授業科目の履修に関し必要な事項は、学類教育会議の議を経て、学類長が定め、学内に公示するものとする。

附 則

この部局細則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平20. 1. 16 情報学群部局細則1号)

- 1 この部局細則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 平成19年度入学者にあっては、この部局細則による改正後の別表第1及び別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 (平20. 4. 1 情報学群部局細則2号)

- 1 この部局細則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則 (平22. 2. 18 情報学群部局細則1号)

- 1 この部局細則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平 2 3． 2． 1 7 情報学群部局細則 1 号）

- 1 この部局細則は、平成 2 3 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平 2 4． 2． 1 5 情報学群部局細則 1 号）

- 1 この部局細則は、平成 2 4 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平 2 5． 1． 1 6 情報学群部局細則 1 号）

- 1 この部局細則は、平成 2 5 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平 2 5． 1 1． 1 3 情報学群部局細則 2 号）

- 1 この部局細則は、平成 2 5 年 7 月 1 日から施行し、同年 4 月 1 日から適用する。
- 2 平成 2 4 年度以前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平 2 6． 1． 1 5 情報学群部局細則 1 号）

- 1 この部局細則は、平成 2 6 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平 2 6． 1 2． 2 4 情報学群部局細則 2 号）

- 1 この部局細則は、平成 2 7 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、改正前の筑波大学情報学群履修細則第 2 条の規定により、主専攻を情報経営・図書館とする者にあつては、改正後の筑波大学情報学群履修細則第 2 条の規定により、主専攻を情報資源経営とする者とする。

附 則（平 2 8． 1． 2 7 情報学群部局細則 1 号）

- 1 この部局細則は、平成 2 8 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平 2 8． 6． 8 情報学群部局細則 2 号）

- 1 この部局細則は、平成 2 8 年 6 月 8 日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、改正後の筑波大学情報学群履修細則第 6 条第 1 項の規定を除き、なお従前の例による。

附 則（平 2 8． 1 2． 6 情報学群部局細則 3 号）

- 1 この部局細則は、平成 2 9 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

(別表 1 平成 28 年度以降入学対象)

卒業に必要な履修科目及び修得単位数																					
主専攻分野	専門科目				専門基礎科目				共通科目				関連科目				計			合計	
	必修 科目 数	単 位 数	選 択 科 目	単 位 数	必修 科目 数	単 位 数	選 択 科 目	単 位 数	必修 科目 数	単 位 数	選 択 科 目	単 位 数	必修 科目 数	単 位 数	選 択 科 目	単 位 数	自由 科目 数	単 位 数			
知識科学	卒業研究	6	GE 6	20～28	—	情報基礎	2	GA 1 GE 2	32～40	—	総合科目Ⅰ (フレッシュア ン・セミナーを 含む)	2	総合科目Ⅰ	—	GA、GE、共通科 目、及び教 職に関する 科目以外	0～12	—	—	74	0	125.5
	専門英語B	1				情報基礎実習	1				総合科目Ⅱ	5	総合科目Ⅱ	—							
	専門英語C	1				プログラミング演習Ⅰ	2				総合科目Ⅲ	5	総合科目Ⅲ	—							
	知識科学実習	2				プログラミング演習Ⅱ	2				総合科目Ⅱ	5	総合科目Ⅱ	—							
						情報数学	2	GE 3	0～8		総合科目Ⅲ	1	外国語	—							
						統計	2				体育	2	外国語	—							
						哲学	2				第1外国語 (英語)	6	芸術	—							
						知識情報概論	2							—							
						専門英語A	1.5				第2外国語 (初修外国 語)	3		—							
						知識情報演習Ⅰ	2							—							
知識情報システム	単位合計	10		30～38	0		22.5		32～40	0	総合科目Ⅰ (フレッシュア ン・セミナーを 含む)	19	総合科目Ⅰ 総合科目Ⅱ 総合科目Ⅲ	0～12	GA、GE、共通科 目、及び教 職に関する 科目以外	0～12	—	—	74	0	125.5
	卒業研究	6	GE 7	20～28	—	情報基礎	2	GA 1 GE 2	32～40	—	総合科目Ⅰ (フレッシュア ン・セミナーを 含む)	2	総合科目Ⅰ 総合科目Ⅱ 総合科目Ⅲ	—							
	専門英語B	1				情報基礎実習	1				総合科目Ⅱ	5	総合科目Ⅱ	—							
	専門英語C	1				プログラミング演習Ⅰ	2				総合科目Ⅲ	5	総合科目Ⅲ	—							
	知識情報シ ステム実習	2				プログラミング演習Ⅱ	2				総合科目Ⅱ	5	総合科目Ⅱ	—							
						情報数学	2	GE 3	0～8		総合科目Ⅲ	1	外国語	—							
						統計	2				体育	2	外国語	—							
						哲学	2				第1外国語 (英語)	6	芸術	—							
						知識情報概論	2				第2外国語 (初修外国 語)	3		—							
						知識情報演習Ⅰ	2							—							
単位合計		10		30～38	0		22.5		32～40	0	総合科目Ⅰ 総合科目Ⅱ 総合科目Ⅲ	19	総合科目Ⅰ 総合科目Ⅱ 総合科目Ⅲ	0～12					74	0	125.5

卒業に必要な履修科目及び修得単位数															
主専攻分野	専門科目				専門基礎科目				基礎科目						合計
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自科目	単位数	選択科目	単位数	必修科目	単位数	自科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目
情報資源経営	卒業研究	6	GE 8	20～28	—	—	情報基礎	2	GA 1	32～40	—	—	総合科目Ⅰ (フレッシユーマン・セミナーを含む)	2	総合科目Ⅰ
	専門英語B	1					情報基礎実習	1	GE 2				総合科目Ⅱ	5	総合科目Ⅱ
	専門英語C	1					プログラミング演習Ⅰ	2					総合科目Ⅲ	1	総合科目Ⅲ
	情報資源経営実習	2					プログラミング演習Ⅱ	2					総合科目Ⅳ	2	総合科目Ⅳ
							情報数学	2	GE 3	0～8			体育	2	体育
							統計	2					第1外国語(英語)	6	第1外国語(英語)
							哲学	2					第2外国語(初修外国語)	3	第2外国語(初修外国語)
							知識情報概論	2							
							専門英語A	1.5							
							知識情報演習Ⅰ	2							
							知識情報演習Ⅱ	2							
							知識情報演習Ⅲ	2							
単位合計				10	30～38	0	22.5	32～40	0	19	0～12	0	0	0	0
合計															
															0 125.5
															74 51.5
															0 125.5

- (注) 1. この表に掲げる単位数は、卒業に必要な最少の数値を表す。
2. 同一の授業科目を重複して、他の科目欄の授業科目とすること又は同一の科目欄の他の授業科目とすることはできない。
3. 各科目欄に掲げる記号及び番号は授業科目番号で、当該記号及び番号で始まる授業科目のグループを表す。
4. 「総合科目」、「体育」、「外国語」、「国語」及び「芸術」は、それぞれ当該授業科目として開設しているものの中から、「基礎科目(共通科目)の履修方法」に従って履修する。
5. 総合科目Ⅱについては、科目群A及び科目群Bのそれぞれから2単位を含む合計5単位を必修とする。
6. 編入学又は転入学を許可された者及び入学前又は入学後に他大学等において授業科目を履修し、又は学修を行った者で、他大学等において「専門英語A」に相当する科目を履修したものに係る当該授業科目の卒業に必要な修得単位数は、この表の規定にかかわらず、次のとおりとする。
- 専門英語A 1単位
7. 知識情報・図書館学類長が教育上有益と認める場合は、この表の規定にかかわらず、第1外国語として英語以外の外国語の選択を認めることがある。
- 外国語として「日本語」が認められた場合の第1外国語の卒業に必要な修得単位数は、4.5単位とする。
8. 知識情報・図書館学類長が教育上有益と認める場合は、この表の規定にかかわらず、第2外国語又は外国語として「日本語」の選択を認めることがある。
9. 卒業研究の履修に当たっては、卒業に必要な履修科目の中から合計90単位以上修得している(卒業に必要な未修得単位数が35.5単位以下となっている)こととする。

(別表 1 平成 27 年度入学者・平成 29 年度編入学者対象)

卒業に必要な履修科目及び修得単位数																
専門科目				専門基礎科目				基礎科目						合計	合	
								共通科目			関連科目					
必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目
卒業研究	6	GE 6	20～28	—	情報基礎	2	GA 1	32～40	—	総合科目Ⅰ (フレッシュマ ン・セミナーを 含む)	2	総合科目Ⅰ	2	総合科目ⅠⅡ	0～12	—
専門英語B	1				情報基礎実習	1	GE 2			総合科目Ⅱ	5	総合科目ⅡⅢ	—	GA、G E、共通科 目、及び教 職に関する 科目以外	74	0
専門英語C	1				プログラミング演習Ⅰ	2				総合科目ⅡⅢ	5	体育	—			
知識科学実習	2				プログラミング演習Ⅱ	2				総合科目Ⅱ	5	外国語	—			
					情報数学	2	GE 3	0～8		総合科目Ⅲ	1	外国語	—			
					統計	2				体育	2	国語	—			
					哲学	2				第1外国語 (英語)	6	芸術	—			
					知識情報概論	2				第2外国語 (初修外国 語)	3		—			
					専門英語A	1.5							—			
					知識情報演習Ⅰ	2							—			
					知識情報演習Ⅱ	2							—			
					知識情報演習Ⅲ	2							—			
単位合計	10		30～38	0		22.5		32～40	0	総合科目Ⅰ (フレッシュマ ン・セミナーを 含む)	19	総合科目Ⅰ 総合科目Ⅱ 総合科目Ⅲ	0～12	GA、G E、共通科 目、及び教 職に関する 科目以外	0～12	0
卒業研究	6	GE 7	20～28	—	情報基礎	2	GA 1	32～40	—	総合科目Ⅰ (フレッシュマ ン・セミナーを 含む)	2	総合科目Ⅰ 総合科目Ⅱ 総合科目Ⅲ	0～12	GA、G E、共通科 目、及び教 職に関する 科目以外	74	0
専門英語B	1				情報基礎実習	1	GE 2			総合科目Ⅱ	5	体育	—			
専門英語C	1				プログラミング演習Ⅰ	2				総合科目ⅡⅢ	5	外国語	—			
知識情報シ ステム実習	2				プログラミング演習Ⅱ	2				総合科目Ⅱ	5	国語	—			
					情報数学	2	GE 3	0～8		総合科目Ⅲ	1	芸術	—			
					統計	2				体育	2		—			
					哲学	2				第1外国語 (英語)	6		—			
					知識情報概論	2				第2外国語 (初修外国 語)	3		—			
					専門英語A	1.5							—			
					知識情報演習Ⅰ	2							—			
					知識情報演習Ⅱ	2							—			
					知識情報演習Ⅲ	2							—			
単位合計	10		30～38	0		22.5		32～40	0	総合科目Ⅰ (フレッシュマ ン・セミナーを 含む)	19	総合科目Ⅰ 総合科目Ⅱ 総合科目Ⅲ	0～12	GA、G E、共通科 目、及び教 職に関する 科目以外	0～12	0

(別表 1 平成 23～26 年度入学者・平成 25～28 年度編入学者対象)

卒業に必要 な 履 修 科 目 及 び 修 得 単 位 数															
主 専 攻 分 野	専 門 科 目				専 門 基 礎 科 目				基 通 科 目				関 連 科 目		
	必 修 科 目	単 位 数	選 択 科 目	単 位 数	必 修 科 目	単 位 数	選 択 科 目	単 位 数	必 修 科 目	単 位 数	選 択 科 目	単 位 数	自 由 科 目	単 位 数	計
知 識 科 学	卒業研究	6	GE 6	0～8	情報基礎	2	GE 2	32	GE 2	0～8	総合科目 I (フレッシユマ ン・セミナラーを 含む)	2	—	—	—
	専門英語 B	1	GE 6		情報基礎実習	1	GA		総合科目 II	—	総合科目 I II 体育 外国語 芸術	—	—	—	—
	専門英語 C	1	GE 7		プログラミング演習 I	2			総合科目 II	—	総合科目 I II 体育 外国語 芸術	—	—	—	—
	知識科学実習	2	GE 8		プログラミング演習 II	2			総合科目 II	—	総合科目 I II 体育 外国語 芸術	—	—	—	—
			GE 4	8	情報数学	2			総合科目 II	—	総合科目 I II 体育 外国語 芸術	—	—	—	—
			GE 7		統計	2			総合科目 II	—	総合科目 I II 体育 外国語 芸術	—	—	—	—
			GE 8		哲学	2			総合科目 II	—	総合科目 I II 体育 外国語 芸術	—	—	—	—
			知識情報特論	2	知識情報概論	2			総合科目 II	—	総合科目 I II 体育 外国語 芸術	—	—	—	—
					専門英語 A	1.5			総合科目 II	—	総合科目 I II 体育 外国語 芸術	—	—	—	—
					知識情報演習 I	2			総合科目 II	—	総合科目 I II 体育 外国語 芸術	—	—	—	—
知 識 情 報 シ ス テ ム	単位合計	10		30	知識情報演習 II	2		32	GE 2	0～8	総合科目 I (フレッシユマ ン・セミナラーを 含む)	2	—	—	—
	卒業研究	6	GE 7	0～8	情報基礎	2	GE 2	32	GE 2	0～8	総合科目 I (フレッシユマ ン・セミナラーを 含む)	2	—	—	—
	専門英語 B	1	GE 4		情報基礎実習	1	GA		総合科目 II	—	総合科目 I II 体育 外国語 芸術	—	—	—	—
	専門英語 C	1	GE 6		プログラミング演習 I	2			総合科目 II	—	総合科目 I II 体育 外国語 芸術	—	—	—	—
	知識情報シ ステム実習	2	GE 7		プログラミング演習 II	2			総合科目 II	—	総合科目 I II 体育 外国語 芸術	—	—	—	—
			GE 8		情報数学	2			総合科目 II	—	総合科目 I II 体育 外国語 芸術	—	—	—	—
			GE 4	8	統計	2			総合科目 II	—	総合科目 I II 体育 外国語 芸術	—	—	—	—
			GE 6		哲学	2			総合科目 II	—	総合科目 I II 体育 外国語 芸術	—	—	—	—
			GE 8		知識情報概論	2			総合科目 II	—	総合科目 I II 体育 外国語 芸術	—	—	—	—
			知識情報特論	2	専門英語 A	1.5			総合科目 II	—	総合科目 I II 体育 外国語 芸術	—	—	—	—
合 計	単位合計	10		30	知識情報演習 II	2		32	GE 2	0～8	総合科目 I (フレッシユマ ン・セミナラーを 含む)	2	—	—	—
					情報基礎	2	GA		総合科目 II	—	総合科目 I II 体育 外国語 芸術	—	—	—	—

卒業に必要な履修科目及び修得単位数																			
主専攻分野	専門科目				専門基礎科目				基礎科目				科目			合計	合 計		
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	関連科目								
											必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目			単位数	
情報資源経営実習	卒業研究	6	GE 8	20	情報基礎	2	GE 2	32	総合科目Ⅰ (フレッシュメン・セミナーを含む)	2	—	—	—	GA、GE、共通科目、及び教職に関する科目以外	0~12	12	125.5		
	専門英語B	1		GE 6	情報基礎実習	1	GA	GE 3	総合科目Ⅱ	—	—	—	—	—	62	51.5	125.5		
	専門英語C	1		GE 7	プログラミング演習Ⅰ	2		GA	総合科目Ⅱ	6	—	—	—	—	—	—	—		
	情報資源経営実習	2	GE 4 GE 6 GE 7	8	プログラミング演習Ⅱ	2			総合科目Ⅱ	2	—	—	—	—	—	—	—	—	
					情報数学	2			体育	2	—	—	—	—	—	—	—	—	
					統計	2			第一外国語 (英語)	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—
					哲学	2			第二外国語 (初修外国語)	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
					知識情報概論	2													
					専門英語A	1.5													
					知識情報演習Ⅰ	2													
				知識情報演習Ⅱ	2														
				知識情報演習Ⅲ	2														
単位合計		10		30	0~8	22.5	32	0~8	19	0	0~12	0	0	0~12	62	51.5	125.5		

(注) 1. この表に掲げる単位数は、卒業に必要な最少の単位数を表す。

2. 同一の授業科目を重複して、他の科目欄の授業科目とすること又は同一の科目欄の他の授業科目とすることはできない。

3. 各科目欄に掲げる記号及び番号は、授業科目番号で、当該記号及び番号で始まる授業科目のグループを表す。

4. 「総合科目」、「体育」、「外国語」、「国語」及び「芸術」は、それぞれ当該授業科目として開設しているものの中から、「基礎科目（共通科目）の履修方法」にしたがって履修する。

5. 総合科目Ⅱについては、科目群A及び科目群Bのそれぞれから2単位を含む合計6単位を必修とする。

6. 編入学又は転入学を許可された者及び入学前又は入学後に他大学等において授業科目を履修し、又は学修を行った者で、他大学等において「総合科目」、「専門英語A」に相当する科目を履修したものに係る当該授業科目の卒業に必要な修得単位数は、この表の規定にかかわらず、次のとおりとする。

総合科目Ⅰ及びⅡ 8単位
専門英語A 1単位

7. 卒業研究の履修に当たっては、卒業に必要な履修科目の中から合計90単位以上修得している（卒業に必要な未修得単位数が35.5単位以下となっている）こと。

(注 平成27年度以降の開講形態に合わせて修正)

教職課程（教科に関する科目）

情報学群 知識情報・図書館学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数 中学校			
社	日本史及び外国史	1 以上	日本史及び外国史	(比較文化学類開設) ◎ <u>日本研究概論Ⅰ・Ⅱ(2科目セット)(2018年度～)</u> (日本語・日本文化学類開設) ◎ <u>日本の歴史概論(～2018年度)</u> (知識情報・図書館学類開設) 日本図書学	下線は2つのうち1つを選択必修
				(比較文化学類開設) ◎欧米研究概論 ◎ <u>アジア研究概論Ⅰ(2018年度～)</u> (日本語・日本文化学類開設) ◎ <u>東洋の歴史と文化(～2018年度)</u> (知識情報・図書館学類開設) 中国図書学(～2017年度), 図書館文化史論	下線は2つのうち1つを選択必修
会	地理学(地誌を含む。)	1 以上	地理学(地誌を含む。)	(地球学類開設) ◎人文地理学, ◎地誌学 (知識情報・図書館学類開設) 教育文化政策	
	「法律学, 政治学」	1 以上	「法律学, 政治学」	(知識情報・図書館学類開設) ◎情報法, 知的財産権論A, 図書館情報法制度論(～2015年度)	
	「社会学, 経済学」	1 以上	「社会学, 経済学」	(知識情報・図書館学類開設) ◎メディア社会学, 量的調査法, メディア社会文化論, 質的調査法, 情報行動論, 情報経済論(～2017年度), 経営・組織論	
	「哲学, 倫理学, 宗教学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(知識情報・図書館学類開設) ◎哲学, 知識論	
合 計 (中学一種)		2 0			

- (注) 1. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。
2. 平成29年度以前に修得した「日本研究概論Ⅰ・Ⅱ(2科目セット)」および「アジア研究概論Ⅰ」は教科に関する科目とはならない。

情報学群 知識情報・図書館学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		高等学校			
公 民	「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	1 以上	「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	(知識情報・図書館学類開設) ◎情報法, 知的財産権論 A, 図書館情報法制度論（～2015年度）	
	「社会学, 経済学（国際経済を含む。）」	1 以上	「社会学, 経済学（国際経済を含む。）」	(知識情報・図書館学類開設) ◎メディア社会学, 量的調査法, メディア社会文化論, 質的調査法, 情報行動論, 情報経済論（～2017年度）, 経営・組織論	
	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	(知識情報・図書館学類開設) ◎哲学, 知識論, メディア教育の実践と評価	
合 計 (高校一種)		2 0			

(注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 知識情報・図書館学類

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
数	代数学	1 以上	1 以上	代数学	(知識情報・図書館学類開設) ◎基礎数学 B, 情報数学	
	幾何学	1 以上	1 以上	幾何学	(情報メディア創成学類開設) ◎CG 基礎, 情報数学Ⅲ, インタラクティブ CG	
	解析学	1 以上	1 以上	解析学	(知識情報・図書館学類開設) ◎基礎数学 A (情報科学類開設) 数値計算法, 解析学Ⅲ, 複素関数論	
学	「確率論, 統計学」	1 以上	1 以上	「確率論, 統計学」	(知識情報・図書館学類開設) ◎統計, 多変量解析, データマイニング	
	コンピュータ	1 以上	1 以上	コンピュータ	(知識情報・図書館学類開設) ◎データ構造とアルゴリズム, 知識情報演習Ⅲ	
合 計 (中学一種, 高校一種)		2 0	2 0			

(注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 知識情報・図書館学類

免許 教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		高等学校			
情	情報社会及び情報倫理	1 以上	情報社会及び情報倫理	(情報学群開設) ◎情報社会と法制度, 知的財産概論	
	コンピュータ及び情報処理 (実習を含む。)	1 以上	コンピュータ及び情報処理 (実習を含む。)	(知識情報・図書館学類開設) ◎プログラミング演習Ⅰ, データ表現と処理, コンピュータシステムとネットワーク	
	情報システム (実習を含む。)	1 以上	情報システム (実習を含む。)	(知識情報・図書館学類開設) ◎情報検索システム 情報システム概説, データベース概説, 自然言語解析基礎	
	情報通信ネットワーク (実習を含む。)	1 以上	情報通信ネットワーク (実習を含む。)	(知識情報・図書館学類開設) ◎Web プログラミング, クラウドコンピューティング	
報	マルチメディア表現及び技術 (実習を含む。)	1 以上	マルチメディア表現及び技術 (実習を含む。)	(知識情報・図書館学類開設) ◎マルチメディアシステム, ◎プログラミング演習Ⅱ, デジタルドキュメント, 情報デザインとインタフェース, マークアップ言語	
	情報と職業	1 以上	情報と職業	(教職科目その他開設) ◎情報と職業 (知識情報・図書館学類開設) インターンシップ	
合 計 (高校一種)		2 0			

(注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

大学において修得すべき図書館に関する科目

区分	図書館法施行規則に定める科目		本学における開設授業科目			備 考
	科目	単位数	授業科目	単位数	開設学群・学類等	
甲群 必修 11科目・22単位	生涯学習概論	2	生涯学習と図書館	2	知識情報・ 図書館学類	
	図書館概論	2	図書館概論	2		
	図書館制度・経営論	2	パブリックガバナンス(2016年度～)	2		
			経営・組織論(～2015年度)	2		2科目を履修
			図書館情報法制度論	2		
	図書館情報技術論	2	情報基礎	2		
	図書館サービス概論	2	情報サービス経営論	2		
	情報サービス論	2	情報探索論	2		いずれか1科目選択
			情報サービス構成論	2		
	児童サービス論	2	読書と豊かな人間性	2		
	情報サービス演習	2	知識情報演習Ⅱ	2		2科目を履修
			情報基礎実習	1		
	図書館情報資源概論	2	コレクションとアクセス	2		
	情報資源組織論	2	知識資源組織化論	2		
乙群 選択 2科目・2単位以上	図書館情報資源特論	1	知識情報演習Ⅰ	2		2科目を履修
			知識情報演習Ⅲ	2		
	図書館基礎特論	1	図書館論	2		
	図書館サービス特論	1	デジタルライブラリ	2		
	図書館情報資源特論	1	日本図書館学	2		いずれか1科目選択
			中国図書館学	2		
			知識資源の分析	2		
			知識資源の用語管理	2		
			学術メディア論	2		
			デジタルドキュメント	2		
	図書・図書館史	1	図書館文化史論	2		
	図書館施設論	1	図書館建築論	2		
	図書館実習	1	インターンシップ	2		

(備考) 司書資格を取得した者には「資格取得証明書」を発行します。卒業後に教育推進課に申し込んでください。
他学で修得した単位と合算して司書資格を取得する場合は、本学で修得した図書館に関する科目について「単位修得証明書」を発行します。

大学において修得すべき司書教諭講習に相当する科目

学校図書館司書教諭講習規程に定める科目		本学における開設授業科目			備考
科 目	単位数	授 業 科 目	単位数	開設学類	
学校経営と学校図書館	2	学校図書館論	2	知識情報・図書館学類	
学校図書館メディアの構成	2	学校図書館メディアの構成	2		
学習指導と学校図書館	2	学習指導と学校図書館	2		
読書と豊かな人間性	2	読書と豊かな人間性	2		
情報メディアの活用	2	情報メディアの活用	2		

(備考)

司書教諭講習に相当する科目として修得した単位は、各学群の履修細則の定めるところにより、卒業要件の単位として算入できます。

司書教諭の資格を取得するためには、司書教諭講習に相当する科目を全て修得した後に、学校図書館法第5条第3項の規定に基づく「学校図書館司書教諭講習」に、書類参加の手続きが必要です。手続方法については、掲示でお知らせします。

大学が単位を与える学修一覧

検 定 名	対象となる級等	認定対象科目
(財)日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定	1級・準1級	English Integrated Skills I, II (1.5単位) ※注1
TOEFL ペーパー版テストの点数	550点以上	
コンピュータ版テスト	213点以上	
インターネット版TOEFL	79点以上	
TOEIC	730点以上	
(財)ドイツ語学文学振興協会が実施するドイツ語技能検定	1級・準1級・2級・3級	ドイツ語基礎A, B (1.5単位)
ゲーテ・インスティトゥートが実施する検定試験	基礎統一試験以上	
(財)フランス語教育振興協会が実施する 実用フランス語技能検定	1級・準1級・2級・3級	フランス語基礎A, B (1.5単位)
ロシア語検定試験実行委員会が実施する ロシア語検定試験	第4・第3・第2・第1・基礎	ロシア語基礎A, B (1.5単位)
(財)日本スペイン協会が実施するスペイン語技能検定	1級・2級・3級・4級・5級	スペイン語基礎A, B (1.5単位)

- (注) 1 実用英語技能検定及びTOEFL又はTOEICは、いずれか1つの試験についてのみ認定する。
2 この表に掲げるもののほか、専門基礎科目及び専門科目として認定する単位は、45時間の学修をもって換算する単位とする。
3 共通科目等開設組織等において定める基準を最低の基準とし、それ以上の基準により各学類・専門学群において与えることができる単位を表す。
4 ゲーテ・インスティトゥートが実施する検定試験の「基礎統一試験」以上の試験とは「職業ドイツ語検定試験」「ドイツ語中級統一試験」「国際ビジネスドイツ語検定試験」「ドイツ語上級統一試験」「ドイツ語小ディプロム試験」及び「ドイツ語大ディプロム試験」を表す。
5 ロシア語検定における認定の基準は、検定試験結果の基礎レベル以上とする。
(第4レベル、第3レベル、第2レベル、第1レベル及び基礎レベル)

テクニカルコミュニケーター専門課程に対応した開設科目一覧

TC 専門課程における分野		知識情報・図書館学類における開設科目	
知能と能力の分野	単位数	科目名	単位数
TC 基礎	2	テクニカルコミュニケーション	2
情報収集と分析	2	量的調査法	2
		質的調査法	2
企画・設計	2	知識発見基礎論	2
情報アーキテクチャー	2	情報基礎	2
		情報システム概説	2
		デジタルドキュメント	2
制作管理・ディレクション	2	知識科学実習	2
		知識情報システム実習	2
		情報資源経営実習	2
デザイン・表現設計	2	知識情報演習 II	2
		情報デザインとインタフェース	2
		デジタルクリエイティブ基礎 (2018 年度～)	1
ライティング	2	情報基礎実習	1
		情報リテラシ実習	1
	2	専門英語 B	1
		専門英語 C	1
周辺分野	2	知的財産概論	2
		国際インターンシップ	2

テクニカルコミュニケーター専門課程は複数の分野から構成されており、上の表には、各分野に対応する知識情報・図書館学類の開設科目が示してあります。各分野の必要単位数を充足するよう表中の 18 単位以上の開設科目を履修し、協会に申請することで、テクニカルコミュニケーター専門課程修了認定証を得ることができます。ただし、2012 年度以降の履修であることが必要です。また、テクニカルコミュニケーター専門課程修了認定は他大学で取得した単位を合わせての申請も可能です。

MEMO

索 引

	氏名		職位	研究室	メールアドレス	担当科目	その他
1	いけうち あつし 池内 淳	Ikeuchi Atsushi	准教授	7D413	atsushi@slis	知識情報演習III-2 情報サービス経営論 パブリックガバナンス	
2	いしい かおり 石井 夏生利	Ishii Kaori	准教授	7D509	kaoriish@slis	フレッシュマン・セミナー 情報リテラシ実習 情報社会と法制度 情報法	1-4担任
3	いづむら ひろし 逸村 裕	Itsumura Hiroshi	教授	7D313	hits@slis	フレッシュマン・セミナー 情報リテラシ実習 情報基礎実習-1,-2 学術情報基盤論	1-2担任
4	うだ のりひこ 宇陀 則彦	Uda Norihiko	准教授	7D210	uda@slis	知識情報概論 デジタルライブラリ	知識情報システム専攻主任
5	おおさわ ふみと 大澤 文人	Osawa Fumito	助教	7D115	osawa@slis	プログラミング演習II-3 多変量解析 インターンシップ 情報メディアの活用	
6	おおば いちろう 大庭 一郎	Ohba Ichiro	講師	7D113	iohba@slis	経営・組織論 情報サービス構成論	
7	こいずみ まさのり 小泉 公乃	Koizumi Masanori	助教	7D310	koizumi@slis	(在外研究)	
8	ごとう よしひろ 後藤 嘉宏	Goto Yoshihiro	教授	7D513	ygoto@slis	フレッシュマン・セミナー 情報リテラシ実習 メディア社会学 メディア社会文化論	1-1担任* 知識科学専攻主任
9	さかぐち てつお 阪口 哲男	Sakaguchi Tetsuo	准教授	7D312	saka@slis	コンピュータシステムとネットワーク Webプログラミング 知的探求の世界I-5	
10	サーカー サヤン	Sarkar Sayan	助教	7D315	sayans@slis	Human-computer Interaction	
11	さとう てつじ 佐藤 哲司	Satoh Tetsuji	教授	7D205	satoh@slis	情報システム概説 テキスト処理 知的探求の世界I-2 知的探求の世界II-2	
12	さんなみ ちほみ 三波 千穂美	Sannami Chihomi	講師	7D302	sannami@slis	学校図書館メディアの構成 テクニカルコミュニケーション サイエンスコミュニケーション	
13	じょうほ ひでお 上保 秀夫	Joho Hideo	准教授	7D408	hideo@slis	知識情報演習II-2 知識情報演習III-1 情報検索システム 国際インターンシップ	
14	しらい てつや 白井 哲哉	Shirai Tetsuya	教授	7D407	tetsushi@slis	テキスト解釈-I アーカイブズの構築	
15	すずき かなえ 鈴木 佳苗	Suzuki Kanae	准教授	7D112	kanae@slis	読書と豊かな人間性 メディア教育の実践と評価 インターンシップ	
16	すずき のぶたか 鈴木 伸崇	Suzuki Nobutaka	准教授	7D204	nsuzuki@slis	フレッシュマン・セミナー 情報リテラシ実習 情報基礎 知識情報演習I-2 データ表現と処理	1-3担任
17	せき ようへい 関 洋平	Seki Yohei	准教授	7D213	yohei@slis	(サバティカル)	4-2担任
18	たかく まさお 高久 雅生	Takaku Masao	准教授	7D208	masao@slis	情報基礎実習-1,-2 デジタルドキュメント 知識情報特論I 知識情報特論II	4-3担任
19	つじ けいた 辻 慶太	Tsuji Keita	准教授	7D512	keita@slis	情報探索論 知識形成論	
20	つじ やすあき 辻 泰明	Tsuji Yasuaki	教授	7D514	tsujiy@slis	専門英語B-3 専門英語C-3 映像メディア論	3-2担任 情報資源経営専攻主任
21	てづか たろう 手塚 太郎	Taro Tezuka	准教授	7D215	tezuka@slis	知識情報演習I-1 データベース概説 国際インターンシップ ソフトウェア工学	
22	てるやま じゅんこ 照山 絢子	Teruyama Junko	助教	7D305	teruyama@slis	質的調査法 知識コミュニケーション 国際インターンシップ	
23	ときい まき 時井 真紀	Tokii Maki	講師	7D203	tmaki@slis	プログラミング演習I-1,-2 情報デザインとインタフェース	3-4担任
24	としもり あつし 歳森 敦	Toshimori Atsushi	教授	学類長室	tosimori@slis	体験型システム開発A 体験型システム開発B コミュニティ情報論	学類長
25	どんかい さおり 呑海 沙織	Donkai Saori	教授	7D403	donkai@slis	知識情報演習I-1,-2 図書館文化史論	
26	なかやま しんいち 中山 伸一	Nakayama Shin-ichi	教授	研究科長室	nakayama@slis	知識発見基礎論 知識構造化法	2-1担任*

	氏名		職位	研究室	メールアドレス	担当科目	その他
27	はせがわ ひでひこ 長谷川 秀彦	Hasegawa Hidehiko	教授	7D211	hasegawa@slis	データマイニング	
28	はら あつゆき 原 淳之	Hara Atsuyuki	助教	7D406	ahara@slis	知識情報演習II-1,-2 国際インターンシップ 図書館論	
29	バーレイシェフ エドワルド	Baryshev Eduard	助教	7D415	baryshev@slis	専門英語B-2 アーカイブズの利用	
30	ひらくえ ゆうじ 平久江 祐司	Hirakue Yuji	教授	7D404	hirakue@slis	学習指導と学校図書館 学校図書館論 インターンシップ	
31	まえしろ てつや 真栄城 哲也	Maeshiro Tetsuya	准教授	7D409	maeshiro@slis	プログラミング演習II-1,-2 生命情報学	
32	まつばやし まみこ 松林 麻美子	Matsubayashi Mamiko	講師	7D111	mamiko@slis	(サバティカル)	4-5担任
33	まつむら あつし 松村 敦	Matsumura Atsushi	助教	7D212	matsumur@slis	プログラミング演習I-1,-2 専門英語C-2 情報サービスシステム	2-2担任
34	まつもと まこと 松本 紳	Matsumoto Makoto	教授	7D202	amy@slis	統計 マルチメディアシステム	
35	みづうえ ちえこ 溝上 智恵子	Mizoue Chieko	教授	系長室	mizoue@slis	教育文化政策	
36	みどりかわ のぶゆき 緑川 信之	Midorikawa Nobuyuki	教授	7D306	midorika@slis	知識情報演習III-1 知識資源組織化論 知識資源の分析	
37	むらい まいこ 村井 麻衣子	Murai Maiko	准教授	7D506	myco@slis	知的財産概論 知的財産権論A	2-3担任
38	もりつぐ しゅういち 森継 修一	Moritsugu Shuichi	教授	7D214	moritsug@slis	基礎数学B データ構造とアルゴリズム プログラミング演習II-1,-2	3-5担任
39	ゆ はいたお 于 海涛	Yu, Haitao	助教	7D316	yuhaitao@slis	知識情報演習III-2 専門英語C-1	
40	よう しょうゆ 叶 少瑜	Ye, Shaoyu	助教	7D206	shaoyu@slis	量的調査法 知的探求の世界II-5 ソーシャルメディア分析	
41	よこやま みきこ 横山 幹子	Yokoyama Mikiko	准教授	7D405	mikiko@slis	哲学 知識論 知識情報特論I 知識情報特論II	4-4担任
42	よしかね ふゆき 芳鐘 冬樹	Yoshikane Fuyuki	教授	7D414	fuyuki@slis	知識情報演習II-1 専門英語B-1 情報評価	3-1担任*
43	よしだ ゆうこ 吉田 右子	Yoshida Yuko	教授	7D116	yyoshida@slis	図書館概論 インターンシップ コレクションとアクセス 知識情報特論I 知識情報特論II	4-1担任*
44	わかばやし けい 若林 啓	Wakabayashi Kei	助教	7D207	kwakaba@slis	情報数学 クラウドコンピューティング	2-4担任
45	わたぬき とよあき 綿抜 豊昭	Watanuki Toyoaki	教授	7D511	wata@slis	テキスト解釈-3 日本図書学	3-3担任
46	おちあい よいち 落合 陽一	Ochiai Yoichi	助教	7D515	wizard@slis	メディアアート	兼任教員
47	もりしま あつゆき 森嶋 厚行	Morishima Atsuyuki	教授	7D507	mori@slis	データベース技術	兼任教員
48	いわまる よしあき 岩丸 良明	Iwamaru Yoshiaki	非常勤講師	—	学群教務に照会	経営情報システム論	
49	かわべ とおる 河辺 徹	Kawabe Toru	教授	3F825	kawabe@cs	ビジネスシステムデザインA ビジネスシステムデザインB	
50	さとう こう 佐藤 功	Koh Sato	非常勤講師	—	学群教務に照会	基礎数学A	
51	たかはし しん 高橋 伸	Takahashi Shin	准教授	3F906	shin@cs	ヒューマンインタフェース	
52	ながもり みつはる 永森 光晴	Nagamori Mitsuharu	講師	7D412	nagamori@slis	マークアップ言語	
53	はせべ いくこ 長谷部 郁子	Hasebe Ikuko	非常勤講師	—	学群教務に照会	専門英語A-1,-2	
54	はまざき まさひろ 濱崎 雅弘	Hamasaki Masahiro	非常勤講師	—	学群教務に照会	自然言語解析基礎	
55	はやせ やすひろ 早瀬 康祐	Hayase Yasuhiro	助教	3F925	hayase@cs	ビジネスシステムデザインA ビジネスシステムデザインB	
56	ひらゆ あつし 平湯 あつし	Hirayu Atsushi	非常勤講師	—	学群教務に照会	テクニカルコミュニケーション	
57	ポーリー, マーティン	Pauly, Martin Edmund	非常勤講師	—	学群教務に照会	専門英語A-3, -4	
58	ましこ かずひこ 益子 一彦	Mashiko Kazuhiko	非常勤講師	—	学群教務に照会	図書館建築論	
59	みすえ かずお 三末 和男	Misue Kazuo	教授	3F830	misue@cs	ビジネスシステムデザインA ビジネスシステムデザインB	
60	みわ まきこ 三輪 真木子	Miwa Makiko	非常勤講師	—	学群教務に照会	情報行動論	
61	わたなべ ちえみ 渡辺 知恵美	Watanabe Chiemi	准教授	7D303	chiemi@slis	ビジネスシステムデザインA ビジネスシステムデザインB	

*メールアドレスのドメイン部は「tsukuba.ac.jp」を省略。例えば「gakumu-k@slis」は「gakumu-k@slis.tsukuba.ac.jp」が正しいメールアドレスです。

非常勤講師へは原則として授業の前後に会うか、学群教務を経由して連絡してください。
クラス担任の長期不在時は学年主任(1クラス担任)が代理します。

科目名索引

〔A-Z〕

Human-computer Interaction 150.5

Web プログラミング 134

〔あ行〕

アーカイブズの構築 149, 169

アーカイブズの利用 148, 170

インターンシップ 94

映像メディア論 171

〔か行〕

学習指導と学校図書館 89

学術情報基盤論 155

学術メディア論 113

学校図書館メディアの構成 90

学校図書館論 163

基礎数学 A 42

基礎数学 B 60

教育文化政策 161

クラウドコンピューティング 141

グローバルチャレンジ演習 28

経営情報システム論 147, 156

経営・組織論 74

公共経済学 72

国際インターンシップ 95

コミュニティ情報論 114

コレクションとアクセス 160

コンピュータシステムとネットワーク 69

〔さ行〕

サイエンスコミュニケーション 119

自然言語解析基礎 70

質的調査法 64

生涯学習と図書館 73

情報基礎 31

情報基礎実習-1 32

情報基礎実習-2 33

情報検索システム 121, 133

情報行動論 65

情報サービス経営論 157

情報サービス構成論 158

情報サービスシステム 130

情報資源経営実習 153

情報システム概説 41

情報社会と法制度 27

情報数学 39

情報探索論 63

情報デザインとインタフェース 138

情報評価 117

情報法 164

情報メディアの活用 93

情報リテラシ実習 26

生命情報学 122

専門英語 A-1 56

専門英語 A-2 57

専門英語 A-3 58

専門英語 A-4 59

専門英語 B-1 96

専門英語 B-2 97

専門英語 B-3 98

専門英語 C-1 99

専門英語 C-2 100

専門英語 C-3 101

ソーシャルメディア分析 126

卒業研究 104

ソフトウェア工学 145

〔た行〕

体験型システム開発 A 81

体験型システム開発 B 82

多変量解析 62

知識科学実習 107

知識形成論 110

知識構造化法 116

知識コミュニケーション.....	123	読書と豊かな人間性.....	91
知識資源組織化論.....	67	図書館概論.....	43
知識資源の分析.....	140	図書館建築論.....	115
知識情報演習 I-1.....	48	図書館文化史論.....	167
知識情報演習 I-2.....	50	図書館論.....	154
知識情報演習 II-1.....	52	〔な行〕	
知識情報演習 II-2.....	53	日本図書館学.....	168
知識情報演習 III-1.....	54	〔は行〕	
知識情報演習 III-2.....	55	パブリックガバナンス.....	172
知識情報概論.....	29	ビジネスシステムデザイン A.....	83
知識情報システム実習.....	129	ビジネスシステムデザイン B.....	85
知識情報特論 I.....	102	ヒューマンインタフェース.....	139
知識情報特論 II.....	103	フレッシュマン・セミナー.....	25
知識発見基礎論.....	66	プログラミング演習 I-1.....	34
知識論.....	109	プログラミング演習 I-2.....	35
知的財産概論.....	47	プログラミング演習 II-1.....	36
知的財産権論 A.....	166	プログラミング演習 II-2.....	37
知的探求の世界 I-1.....	175	プログラミング演習 II-3.....	38
知的探求の世界 I-2.....	176	〔ま行〕	
知的探求の世界 I-5.....	178	マークアップ言語.....	144
知的探求の世界 II-1.....	179	マルチメディアシステム.....	135
知的探求の世界 II-2.....	180	メディアアート.....	150
知的探求の世界 II-5.....	182	メディア教育の実践と評価.....	162
デジタルドキュメント.....	131	メディア社会学.....	71
デジタルライブラリ.....	132	メディア社会文化論.....	124
データ構造とアルゴリズム.....	120, 143	〔ら行〕	
データ表現と処理.....	136	量的調査法.....	61
データベース概説.....	68	レファレンスサイエンス.....	112
データベース技術.....	137		
データマイニング.....	118		
テキスト処理.....	142		
テキスト解釈-1.....	76		
テキスト解釈-3.....	77		
テクニカルコミュニケーション.....	108		
哲学.....	30		
統計.....	40		